

株主のみなさまへ

第37期 報告書

平成24年4月 1日 >> 平成25年3月31日

 *Focus Systems*

株式会社フォーカスシステムズ

フォーカスシステムズは、お客様にトータルソリューション  
をご提供する“総合情報サービス企業”です。

#### 金融機関向けシステム

メガバンク向け顧客管理システム  
の開発や新銀行の基盤構築

#### リスクコンサルティング

サイバー攻撃対応などから企業  
の大切な情報を守る

#### 電子行政システム

行政サービスの電子化に伴う  
システムの開発

#### 社会保険システム

全国の年金事務所をつなぐ  
年金制度を支えるシステム

#### 医療システム

診療を受けた時の診療報酬の  
電算処理システム

#### 次世代移动通信システム

ミドルウェアからドライバ開発、  
通信制御まで携帯端末に関する  
あらゆる開発

フォーカスシステムズの技術は、さまざまなシーンで社会を支えています。

### 気象情報システム

全国の気象観測所をつなぐネットワークの構築



### 航空管制システム

管制官が使用する、いわば「空の信号機」システムの開発



### RFID システム

ICタグをさまざまな物品に取り付けて管理をするシステムの開発

### 暗号技術

電子情報を漏洩や改ざんなどのリスクから守るための次世代暗号技術

### 福祉介護システム

福祉介護の必要な人がどんな介護を受けているのかを管理するシステムの開発

### 自動車登録システム

車、バイク等の所有者や車検状況を管理するシステムの開発



# トップメッセージ

「生き残る会社であるより、  
勝ち残る会社でありたい」



## 株主の皆様へ

平素は当社業務に格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第37期（平成24年4月1日から平成25年3月31日）の営業のご報告をご高覧願うにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当社第37期における我が国経済は、世界経済の減速や、日中関係の悪化による影響が懸念され、先行き不透明な状況で推移しておりましたが、政権交代により、景気対策への期待感による円安・株高基調にシフトするとともに個人消費にも回復の兆しが見られ、景気回復への期待感が高まってまいりました。

情報サービス業界におきましては、企業の情報化投資に対する慎重な姿勢は継続しているものの、クラウドサービスやビッグデータ対応等への関心が高

まり新たな需要が期待され、ソフトウェア関連の設備投資を積極化する企業も出てまいりました。

このような状況のもと、当社は、組織間の連携強化、事業の優先順位の明確化、環境変化への対応、そして営業活動の強化を経営戦略に掲げ、増収増益という結果で終わることが出来ました。

引き続き厳しい状況ではありますが、企業価値の維持向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年6月

代表取締役社長 森 啓一

## 経営理念

「社員すべてが心と力を合わせ、企業の発展と成長を通じて、未来のより良い環境作りに貢献する。」

## 経営ビジョン

私たちは、以下の3つの責任を果たしていきます。

1. 個人責任 人間性と技術力を磨き、最高のサービスをお客様に提供します。
2. 企業責任 社員相互が信頼し合い、安心かつ働きがいのある会社を作ります。
3. 社会責任 お客様、投資家、株主様から信頼され、社会から必要とされる会社を作ります。

## 当期業績について

弊社は「システムインテグレーション」、「ITサービス」、「情報セキュリティ」の3つのサービス領域を事業の柱としておりますが、決算のご報告に関しましては、最終ユーザー毎に「公共関連事業」「民間関連事業」と主にセキュリティ製品の販売を行う「セキュリティ機器関連事業」の3つを報告セグメントとしております。

公共関連事業におきましては、最終ユーザーの予定案件の取り止め、計画見直し、予算縮小による案件数の低下等、厳しい状況が続く中、システム基盤構築業務へとソフトしたものの、売上高・セグメント利益共に計画未達となりました。

また、民間関連事業におきましては、インフラ系（ミドルウェア、ネットワーク等）の業務拡大、既存運用・サービスの業務拡大の結果、売上高・セグメント利益共に計画を達成し、順調に推移しました。

セキュリティ機器関連事業におきましては、官公庁・大手企業を狙った標的型メール攻撃やサイバー攻撃に対する対策や、各都道府県警察におけるサイバー犯罪対策の強化・拡充が追い風となり、売上高・セグメント利益共に計画を達成し、順調に推移しました。

以上の結果、当事業年度業績は、売上高12,353百万円（前事業年度比3.7%増）、営業利益439百万円（前事業年度は47百万円の営業損失）、経常利益416百万円（前事業年度は58百万円の経常損失）、当期純利益241百万円（前事業年度比59.1%増）となりました。

## 今後の事業展開について

新政権の経済政策による円安・株価上昇の動きもあり、景気回復への期待感がふくらんでいます。情報サービス業界においても、企業のIT投資の回復が期待されます。

このような状況のもと、予見されるビジネスチャンスをより確実なものとするため、企業力の向上に努めてまいります。具体的には、需要が潤沢であるインフラビジネスにおいては「要員の育成」、運用業務は「シェアの拡大」、業務アプリケーションは「専門技術への取組み」を目指します。また、ビジネス拠点につきましては、従来の関東圏、近畿圏に加えて名古屋を中心とした東海地方への展開も進めてまいります。

通期の業績としましては売上高12,500百万円、営業利益300百万円、経常利益250百万円、当期純利益100百万円を見込んでおります。

次年度は今後数年の事業展開を睨み、要員の育成ならびに新規事業拠点の設立などの投資を行う予定でございます。

## 株主様へのメッセージ

今後の10年を踏まえ、強い会社を維持するためにどう変わっていけるのか。広く、遠くを見つめる目を持ち続けてまいります。

当期の期末配当金は、これまでご支援いただきました株主様への感謝の意を表し、普通配当金10円に記念配当金5円を加えて15円といたしました。

次期（平成26年3月期）の配当金につきましては、普通配当金として1株当たり12円を予定しております。

会社はオーケストラ。経営者は指揮者。そしてお客様、株主様をはじめ、当社を応援していただいている皆様から“ブラボー”の声をいただけるよう、役職員一丸となり邁進してまいります。

株主の皆様のお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

# 3つのサービス領域

## 1st Focus システムインテグレーション

### ● 公共分野

官公庁関連システムなど社会を支える公共システム分野に数多くの実績を有するのが当社の特徴のひとつ。「税務・財務システム」「労働保険・社会保険システム」「健康保険システム」「貿易流通システム」「航空・交通管制システム」など、高い信頼性、深い業務理解が求められるシステムを数多く手掛けています。

これらのシステム開発を通じた優良企業・官公庁など大口顧客との長期・安定した取引関係が、当社の事業基盤となっているのです。

### ● 金融分野

新しい事業基盤とするべく注力しているのが、金融ビジネス分野です。公共分野でのプロジェクトの経験を通じて蓄積したノウハウが、当社の競争力の源泉となり、金融分野においても「生命保険」「損害保険」「信託」「証券」「政府系金融システム」「クレジット」等の多岐にわたる業務システムについて、安定した取引を確立しています。

### ● 通信ネットワーク分野

設立以来、当社が強みを発揮するのが通信ネットワーク分野です。さまざまな開発を通じて、通信関連の有力企業との長期安定した取引関係を確立しています。次世代通信網『NGN』を構成する各種通信装置や、携帯電話の基地局、インターネットの核であるルータやゲートウェイなど、さまざまな通信制御装置のファームウェア開発を行っています。また、携帯電話端末の開発においては、ミドルウェアやドライバ通信制御など、高度な知識・経験が要求される部分の開発に強みを持っています。

## 2nd Focus ITサービス

### ● インフラ基盤環境設計・構築

進化の速いオープン系システムにおいて、インフラ基盤（ハードウェア周り、ネットワーク、OS、ミドルウェア）の構築から、アプリケーションソフトの開発まで、最先端技術を駆使した設計・構築・開発を行っています。

### ● 技術支援サポート業務

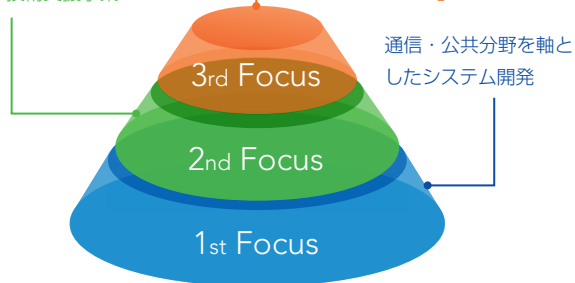
ハードウェア環境、ネットワーク、OS、ミドルウェアの問題点解決や、ハードウェアの推奨設定値の支援などを技術者に対して行うことにより、先端技術を必要とするお客様環境の構築を支えています。

### ● 運用サポート業務

メーカーの提供するソフトウェアに対し、顧客の業務上の問題点解決や顧客要求を実現するために、電話による技術サポート（ヘルプデスク）やお客様環境運用システムの開発など、技術力（テクニカルスキル）の提供により運用をサポートしています。

総合情報サービス企業としてのシステム運用・保守/インフラ技術支援事業

健全なIT社会構築に貢献する技術、「暗号」「デジタル・フォレンジック」



私たちフォーカスシステムズは、お客様にトータルソリューションをご提供する  
“総合情報サービス企業”です。

健全な IT 社会の実現のため、最先端のテクノロジーを取り入れながら、  
常に新しいソリューションの創造に努めています。

## 3rd Focus | 情報セキュリティ

### ● さまざまなフェーズでのセキュリティ

暗号による情報の秘匿、定期的なセキュリティ診断、それでも問題が発生した場合のデジタル・フォレンジックによるインシデントレスポンス（事後対応）。フォーカスシステムズは、さまざまなアプローチでビジネスにおけるセキュリティ対策を支援していきます。

### ● 暗号技術

自社製品などさまざまな環境でC4暗号をはじめとした各種暗号技術を活用し、情報漏洩対策のひとつとして、デジタル社会におけるセキュリティのニーズに対応しています。

### ● スマートデバイスセキュリティ

スマートフォンやタブレット端末を業務に活用するために必要な認証、暗号といった機能を、新たなセキュリティとして提供しています。

### ● リスクコンサルティング

この分野では主に3つのカテゴリにおいて製品やサービスをご提供し、顧客の幅広いニーズにお応えしてきました。1つ目はコンピュータやスマートフォンなどを解析するデジタル・フォレンジック、2つ目は米国訴訟に巻き込まれるお客様向けにeDiscovery（電子情報開示）、3つ目はコンピュータやネットワークへの攻撃が発生する被害を未然に防いだり、万が一被害が起きてしまった際に事後対応を行うサイバー攻撃対応です。

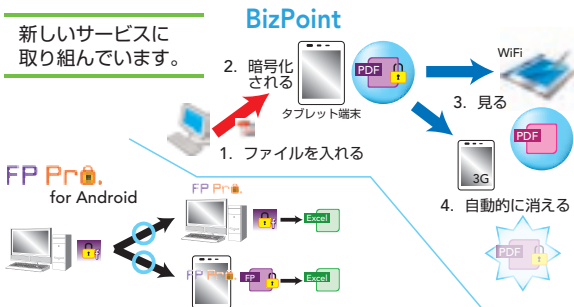
特に近年、あらゆる組織がサイバー攻撃対応に頭を悩ませており、組織内にコンピュータ緊急対応チームを立ち上げ始めてきました。

当社はフォレンジックで培った知識・技術と顧客基盤を活かし、悪意あるプログラム“マルウェア”の解析を含むサイバー攻撃対応のビジネスに力を入れています。

## トータルセキュリティのご提案

### 暗号技術

#### モバイル端末の持ち出しセキュリティ



#### システム開発用エンジン・ライブラリ

共通鍵暗号 FIPS 140-2適合認定ライブラリ

4s 4Custom 4CS AES

### デジタル・フォレンジック

#### 調査・解析

情報漏洩

マルウェア

不正アクセス

#### eDiscovery

特許訴訟

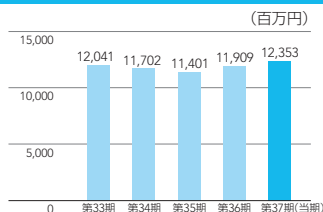
カルテル

PL訴訟

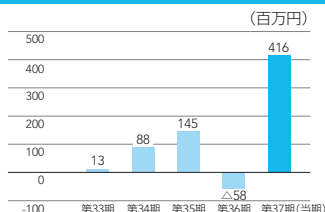
デジタル・フォレンジックの適用事例

## 決算ハイライト

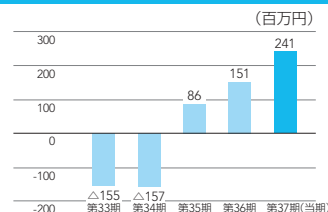
## 売上高



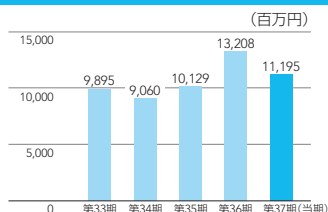
## 経常利益または経常損失



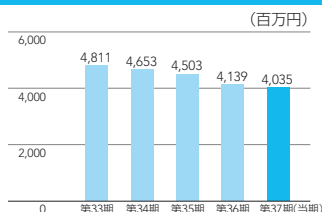
## 当期純利益または当期純損失



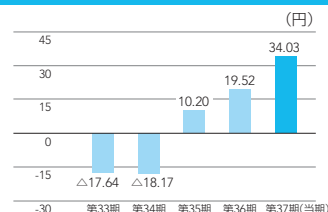
## 総資産



## 株主資本

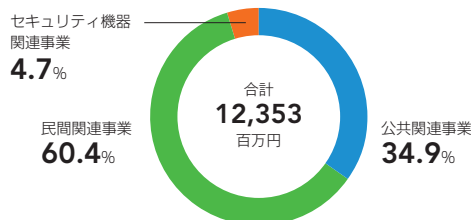


## 1株当たり当期純利益または1株当たり当期純損失



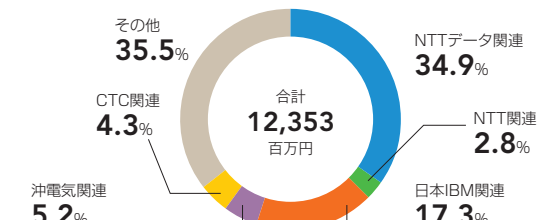
公共関連事業におきましては、NTTデータ様およびその関連企業様が、民間関連事業におきましては、日本IBM様、NTT様、沖電気様、CTC様およびその関連企業様が、主要顧客となります。セキュリティ機器関連事業におきましては、官公庁、自治体様が主要顧客となります。

## セグメント別売上高構成比



| セグメント別       | 第37期(当期) 平成25年3月期<br>売上高(百万円) |
|--------------|-------------------------------|
| 公共関連事業       | 4,311                         |
| 民間関連事業       | 7,461                         |
| セキュリティ機器関連事業 | 580                           |
| 合計           | 12,353                        |

## 主要顧客別売上高構成比



| 顧客名      | 第37期(当期) 平成25年3月期<br>売上高(百万円) |
|----------|-------------------------------|
| NTTデータ関連 | 4,306                         |
| NTT関連    | 351                           |
| 日本IBM関連  | 2,140                         |
| 沖電気関連    | 643                           |
| CTC関連    | 532                           |
| 小計       | 7,974                         |
| その他      | 4,379                         |
| 合計       | 12,353                        |



## 【貸借対照表 (要約)】

(単位：百万円、単位未満切り捨て)

| 科 目             | 当事業年度         | 前事業年度         |
|-----------------|---------------|---------------|
|                 | 平成25年3月31日現在  | 平成24年3月31日現在  |
| 資産の部            |               |               |
| 流動資産            | 5,559         | 5,444         |
| 固定資産            | 5,636         | 7,764         |
| <b>1▶ 資産合計</b>  | <b>11,195</b> | <b>13,208</b> |
| 負債の部            |               |               |
| 流動負債            | 3,769         | 3,942         |
| 固定負債            | 2,556         | 3,218         |
| <b>2▶ 負債合計</b>  | <b>6,326</b>  | <b>7,161</b>  |
| 純資産の部           |               |               |
| 株主資本            | 4,035         | 4,139         |
| 評価・換算差額等        | 833           | 1,908         |
| <b>3▶ 純資産合計</b> | <b>4,868</b>  | <b>6,047</b>  |
| 負債純資産合計         | 11,195        | 13,208        |

## 【損益計算書 (要約)】

(単位：百万円、単位未満切り捨て)

| 科 目                      | 当事業年度                       | 前事業年度                       |
|--------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
|                          | 平成24年4月1日から<br>平成25年3月31日まで | 平成23年4月1日から<br>平成24年3月31日まで |
| <b>1▶ 売上高</b>            | <b>12,353</b>               | <b>11,909</b>               |
| 売上原価                     | 10,796                      | 10,453                      |
| 売上総利益                    | 1,557                       | 1,455                       |
| 販売費及び一般管理費               | 1,118                       | 1,503                       |
| <b>2▶ 営業利益又は営業損失 (△)</b> | <b>439</b>                  | <b>△ 47</b>                 |
| 営業外収益                    | 64                          | 80                          |
| 営業外費用                    | 87                          | 91                          |
| 経常利益又は経常損失 (△)           | 416                         | △ 58                        |
| 特別利益                     | 532                         | 569                         |
| <b>3▶ 特別損失</b>           | <b>727</b>                  | <b>9</b>                    |
| 税引前当期純利益                 | 221                         | 501                         |
| 法人税等                     | △ 19                        | 349                         |
| 当期純利益                    | 241                         | 151                         |

## 【キャッシュ・フロー計算書(要約)】

(単位：百万円、単位未満切り捨て)

| 科 目                      | 当事業年度                       | 前事業年度                       |
|--------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
|                          | 平成24年4月1日から<br>平成25年3月31日まで | 平成23年4月1日から<br>平成24年3月31日まで |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー         | △ 1,020                     | 314                         |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー         | 875                         | 442                         |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー         | 56                          | 65                          |
| 現金及び現金同等物の増減額            | △ 89                        | 822                         |
| 現金及び現金同等物の期首残高           | 2,484                       | 1,662                       |
| <b>1▶ 現金及び現金同等物の期末残高</b> | <b>2,395</b>                | <b>2,484</b>                |

## Point

- 1▶ 資産合計**  
前事業年度末に比べ2,012百万円減少しました。  
これは主に、投資有価証券1,693百万円の減少および保険積立金384百万円の減少によるものです。
- 2▶ 負債合計**  
前事業年度末に比べ834百万円減少しました。  
これは主に、繰延税金負債596百万円の減少および未払法人税等398百万円の減少によるものです。
- 3▶ 純資産合計**  
利益剰余金は167百万円増加し、その他有価証券評価差額金は1,074百万円減少して、純資産は1,178百万円の減少となりました。

## Point

- 1▶ 売上高**  
前事業年度に比べ444百万円増加しました。これは、主に民間関連事業の売上高が766百万円増加したことによるものです。
- 2▶ 営業利益又は営業損失 (△)**  
前事業年度に比べ486百万円増加しました。これは主に役員退職慰労引当金繰入額353百万円の減少によるものです。
- 3▶ 特別損失**  
特別損失は、前事業年度に比べ718百万円増加しました。これは主に役員退職慰労金704百万円によるものです。

## Point

- 1▶ 現金及び現金同等物の期末残高**  
当事業年度の現金及び現金同等物の期末残高は、役員退職慰労金の支払額1,104百万円、法人税等の支払額402百万円、長期借入金の返済1,370百万円、自己株式の取得273百万円等による支出があった一方で、保険積立金の解約678百万円、投資有価証券の売却310百万円、長期借入れ1,900百万円等による収入を中心に、前事業年度末に比して89百万円減少し2,395百万円となりました。

## 会社概要

(平成25年3月31日現在)

|      |  |
|------|--|
| 社名   | 株式会社フォーカスシステムズ   |
| 本社   | 〒141-0022<br>東京都品川区東五反田二丁目7番8号<br>フォーカス五反田ビル<br>TEL.03-5421-7777 (代)<br>FAX.03-5421-3201 |
| 設立   | 昭和52年4月1日  |
| 資本金  | 29億円   |
| 売上高  | 123億円  |
| 従業員数 | 899名   |



本社ビル

## 役員

(平成25年6月27日現在)

|          |      |
|----------|------|
| 代表取締役社長  | 森啓一  |
| 代表取締役副社長 | 三浦宏介 |
| 専務取締役    | 畑山芳文 |
| 取締役      | 室井誠亮 |
| 取締役      | 後藤亮一 |
| 常勤監査役    | 坂主淳一 |
| 監査役      | 池野清昭 |
| 監査役      | 中村清司 |
| 監査役      | 杉山昌宏 |

(注) ※両氏は社外監査役であります。

## トピックス 名古屋サテライトオフィス開設

このたび、新たな営業拠点として、愛知県名古屋市にサテライトオフィスを開設いたしました。  
名古屋サテライトオフィスは、東京、大阪に続く、東海地域の拠点として、地域のお客様とのより緊密な関係を構築してまいります。  
当面は少人数での事業活動となりますが、地域の皆様のご要望にお応えできるよう精進して参ります。  
なにとぞご愛顧いただけますようお願い申し上げます。

愛知県名古屋市中区丸の内1-9-11 第40KTビル5階  
業務内容 アプリケーションソフト開発、ITインフラ構築

電話：052-218-7606 FAX：052-218-7215

## トピックス 弊社提供のラジオ番組がオンエア中

FMラジオ局“Inter FM”にて、弊社提供の情報番組“BUSINESS LAB.”がオンエア中です。“BUSINESS LAB.”は、ビジネスの話題を中心とした番組。

各界のビジネスリーダーをゲストに迎え、明日のビジネスのヒントを探ります。  
パーソナリティは見・投資コンサルタントの中島セイジさん、ナビゲーターは山尾百合子さん。この番組を聴けば、明日のビジネスが見えてきます。

放送開始以来からの好評を受け、4月より日曜朝6時からの放送となり、リスナーの多い放送時間帯となりました。是非ご視聴下さい。



## BUSINESS LAB.

InterFM：毎週日曜日

6：00～7：00

76.1MHz 東京

76.5MHz 横浜

<http://www.interfm.co.jp/>

## 株式の状況

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

|          |              |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 36,000,000 株 |
| 発行済株式の総数 | 8,146,471 株  |
| 株主総数     | 2,917 名      |

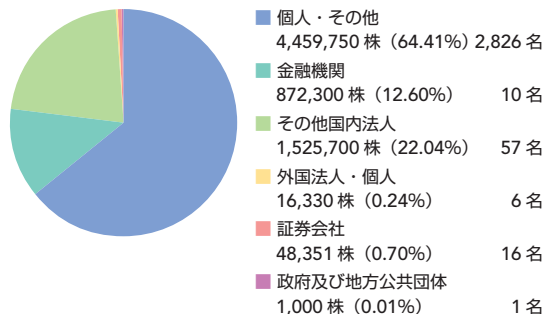
## 大株主 (上位 10 名)

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

| 株主名              | 持株数(株)  | 持株比率(%) |
|------------------|---------|---------|
| 東 光博             | 581,100 | 8.39    |
| 株式会社 UBIC        | 450,000 | 6.50    |
| 柿木 龍彦            | 361,000 | 5.21    |
| フォーカスシステムズ社員持株会  | 328,300 | 4.74    |
| 畑山 芳文            | 274,500 | 3.96    |
| 第一生命保険株式会社       | 250,000 | 3.61    |
| 石橋 雅敏            | 194,100 | 2.80    |
| 株式会社三井住友銀行       | 170,000 | 2.46    |
| みずほ信託銀行株式会社      | 135,000 | 1.95    |
| 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ | 100,000 | 1.44    |

(注) 当社は自己株式 1,223,040 株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。  
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 所有者別・株主分布状況



## ■ アンケートにご協力ください

今後のIR活動に活用させていただきたいと存じますので、株主の皆さまのお声をお聞かせいただけましたら幸いです。

……………(キリトリ)……………

## 株主の皆さまへアンケートご協力をお願い

Q1 当社の株式の購入に際しての情報源は主として次のうちのどこからでしたか?

- 証券会社店頭    証券営業マン    新聞・雑誌の記事    広告  
 四季報    日経会社情報    ホームページ  
 その他( )

Q2 当社の株式を購入された理由は何でしょうか? (複数可)

- 将来性    収益性    経営理念    事業内容    財務内容  
 株価の割安感    証券会社に勧められて    配当    技術力  
 安定性    その他( )

Q3 当社株式に対する今後の方針として最も近いものをひとつお選び下さい。

- 売却    短期保有(1年未満)    長期保有    買い増し  
 その他( )

Q4 第37期報告書で興味を持った記事はどれでしょうか? (複数可)

- アバウトフォーカスシステムズ    トップメッセージ    3つのサービス領域  
 決算ハイライト・財務諸表    会社の概況・株式情報

Q5 当社に対しては、どのような企業イメージをお持ちですか?

[ ]

● ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

[ ]

ご協力ありがとうございました。

※ご記入いただいた個人情報は、個人を特定しないIR統計資料作成の目的のみで使用させていただきます。

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年の3月31日まで  
 定時株主総会 6月  
 基準日 3月31日  
 配当金受領株主確定日 3月31日  
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
 みずほ信託銀行株式会社

(キリトリ)

郵便はがき

料金受取人払郵便

1 4 1 8 7 9 0

大崎局承認

6464

110

(受取人)

東京都品川区東五反田2-7-8  
 フォーカス五反田ビル

株式会社 フォーカスシステムズ  
 IR・広報室 行



アンケートへのご協力をお願い申し上げます。

|   |
|---|
| 性別： <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女   |
| 年齢： <input type="checkbox"/> 20歳未満 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代<br><input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代以上   |
| ご職業： <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 会社役員 <input type="checkbox"/> 専門職(医師・弁護士等) <input type="checkbox"/> 自営業<br><input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 主婦 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 無職 <input type="checkbox"/> その他 |
| 保有株式数： <input type="checkbox"/> 500株未満 <input type="checkbox"/> 500～1,000株未満<br><input type="checkbox"/> 1,000～5,000株未満 <input type="checkbox"/> 5,000株以上   |
| 保有期間： <input type="checkbox"/> 1年未満 <input type="checkbox"/> 1年以上 <input type="checkbox"/> 3年以上 <input type="checkbox"/> 5年以上<br><input type="checkbox"/> 10年以上   |

※ご記入いただいた個人情報は、個人を特定しないIR統計資料作成の目的のみで使用させていただきます。

キリトリ

|                               |  |  |
|-------------------------------|--|--|
|                               | 証券会社等に口座をお持ちの場合  | 証券会社等に口座をお持ちでない場合<br>(特別口座の場合)   |
| 郵送物送付先                        |  | 〒168-8507<br>東京都杉並区和泉2-8-4<br>みずほ信託銀行 証券代行部  |
| 電話お問合せ先                       |  | フリーダイヤル 0120-288-324<br>(土・日・祝日を除く<br>9:00～17:00)  |
| 各種手続お取扱店(住所変更、株主配当金受取り方法の変更等) | お取引の証券会社等になります。  | みずほ証券<br>本店、全国各支店および営業所<br>プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いたします。<br>*カスタマーフラグではお取り扱いできませんのでご了承ください。<br>みずほ信託銀行<br>本店および全国各支店<br>*トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。 |
| 未払配当金のお支払                     | みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります)             |  |
| ご注意                           | 支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。 | 特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。  |

単元株式数 100株

公告方法 電子公告とする。

ホームページをご覧ください。

当社ホームページでは決算短信などのIR情報や、当社事業や製品・サービスなどさまざまな情報を発信しております。近日リニューアルを予定しております。

<http://www.focus-s.com/>



株式会社 フォーカスシステムズ

東京都品川区東五反田二丁目7番8号フォーカス五反田ビル

